

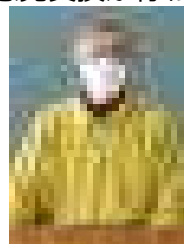


## 「総合的な学習の時間」 全校発表会

中学校学習指導要領では、「総合的な学習の時間」で、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する」ことを目指すとされています。これを受けて本校では、「共に生きる～地域・人を元気に～（郷土の人、自然、産業との関わりを通して、郷土の現状を知り、郷土を元気にする方法を考える）」ことを全体テーマとし、1年生が「発見～郷土と触れ合い、郷土のよさに気付く～」、2年生が「共生～郷土の一員として自覚、共に生きようとする意識～」、3年生が「発展～郷土に何が返せるか、未来の自分の生き方を考える～」の学年テーマの下、個人テーマを設定して学習を進めてきました。

19日には、全校縦割り7班に分かれての発表会を行いました。地域の活性化に向けた取組、持続可能な街づくり、SDGsと私たちの生活との関わりなど、多岐に渡る発表内容でした。そして、各自が取り上げた課題解決のために、今の自分ができることや将来の自分が目指したいこと、SDGsなどの世界的な目標達成のため今自分たちが行うべきことなどの具体的な考えや提案がなされ、それに対する活発な質疑応答や意見交換が行われました。振り返りシートには、「他学年の発表を聞いて地域のことについて改めて知ることができた。そして、地域の活性化に向けて自分ができることも知ることができた。（□□□□□）」、「みんな自分の考えや提案を発表していて、学校全体で地域のことを考えることができてよかった。（□□□□□）」といった記述がみられました。最後の全体会では、地域学校協働活動推進員の□□□□さんから講評として、情報収集に関わる留意事項や今後も深い学びを継続してほしいなどのお話をいただきました。

本校の「目指す生徒像」の一つである、「自ら学び、それを活用・発揮する喜びを実感できる生徒」につながる活動でした。



## 夢の実現へ

26日、学校近くにある北野神社にて、3年部PTA主催による輝積学年の合格祈願祭が行われました。

神社までの丁寧な除雪や、のぼり旗の設置など保護者の皆さんのきめ細かい準備に心が

打たれました。家族の温かい愛情が輝積学年の背中を押してくれます。「人事を尽くして天命を待つ」。過去を悔やまず、未来を憂えず、今できることに集中して臨むことが大切です。勉強はもちろん、体調管理などを含め、「やりきった」という思いで受検日を迎えてくれることと思います。周囲への感謝の心を抱きながら、引き続き「人事を尽くす」のみです。1週間後の2月2日から公立高校の出願が始まります。



## 予測と備え

大仙市のシェイクアウト訓練に呼応して、本校でも23日に今年度3回目となる避難訓練を実施しました。「3つの行動（①低く⇒②頭を守る⇒③動かない）」を取り、安全確認を行うという「シェイクアウト訓練」に沿った訓練内容でした。避難後は、全校でAEDや発電機、備蓄品の保管場所等を確認しました。災害発生時には慌てずに的確な判断で避難行動がとれるように、「予測」と「備え」を念頭においた防災教育を推進しています。



①まず低く  
DROPI



②頭を守り  
COVER!



③動かない  
HOLD ON!